

仏像の着衣と僧衣の研究

東洋美術史論考

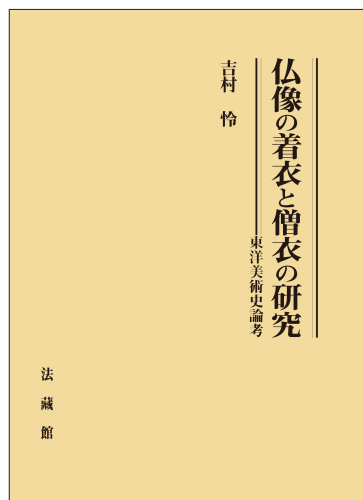
よしむら めぐみ

吉村

怜著

▼B5判・上製函入・371頁・本体一八、〇〇〇円十税

2019年5月刊行



徹底した作品観察と律蔵文献をはじめとする膨大な史料を駆使し、古代の仏像彫刻が纏っている衣の呼称、さらには現代の僧侶が着用している衣との関係を明らかにする。

【目次】

序(肥田路美)

自序(吉村怜)

第一部 仏像の着衣と僧衣

第一章 古代仏像の着衣と名称

―僧祇支と偏袒について―

第二章 古代比丘像の着衣と名称

―僧祇支・偏袒・偏衫・直裰について―

第三章 中国仏像の着衣の基本

―袈裟・裙・僧祇支・偏袒について―

第四章 仏・菩薩像の衣服と名称

第五章 鑑真和上像の着衣、唐式偏袒について

―竹下蘭子氏の批判に答えて―

第六章 青州龍興寺址出土・北齊のインド

風仏像の起源

第二部 個別研究

第七章 東大寺大仏の仏身論

―蓮華藏莊嚴世界の構造―

第八章 東大寺大仏・梵網教主説批判

第九章 雲岡・曇曜五窟の大仏

第十章 龍門古陽洞仏龕にみられる莊嚴

意匠の意義

第十一章 行像考

第十二章 中国の奇岩怪石趣味の起源

―靈璧石と太湖石について―

図版一覧

あとがき

◆著者略歴

一九二九年、東京に生まれる。一九五七年早稲田大学文学部美術専攻卒業、一九五九年早稲田大学大学院東洋美術史修士課程修了、一九六二年～一九九九年早稲田大学助手、講師、助教授、教授を歴任し、早稲田大学名誉教授、文学博士。主な著書に『中国仏教図像の研究』(東方書店、一九八三年)、『天人誕生図の研究』(東アジア仏教美術史論集) (東方書店、一九九九年)、共編著に、『中国美術の旅』(美術出版社、一九九〇年)、『會津八一―その人とコレクション』(早稲田大学出版部、一九九七年など)。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
吉村 怜著	
法藏館	
ISBN: 978-4-8318-6328-7 C3071	本体一八、〇〇〇円十税
仏像の着衣と僧衣の研究	―東洋美術史論考―
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏像・仏教